

4. 火災の実態

1. 火災の概要

平成26年中の火災は、出火件数2,242件、損害額4,165,588千円、死者数71人、建物焼損床面積46,261㎡、建物焼損表面積3,254㎡、林野焼損面積656a、焼損棟数1,621棟、り災世帯数959世帯、り災人員2,247人となった。前年と比較した火災の状況は次のとおりである。

なお、平成26年中の火災の発生を一日当たりで見ると、出火件数約6.1件、損害額約11,413千円、死者数約0.2人、建物焼損床面積約126.7㎡、建物焼損表面積約8.9㎡、林野焼損面積約1.8a、焼損棟数約4.4棟、り災世帯数約2.6世帯、り災人員約6.2人である。

区 分	平成26年 ①	平成25年 ②	対前年増減数 ③ = ① - ②	増減率 $\frac{③}{②} \times 100$ (%)
出火件数	2,242	2,468	-226	-9.2
建物火災	1,090	1,140	-50	-4.4
林野火災	93	108	-15	-13.9
車両火災	185	207	-22	-10.6
船舶火災	4	4	0	—
航空機火災	0	0	0	—
その他火災	870	1,009	-139	-13.8
焼損棟数	1,621	1,582	39	2.5
り災世帯数	959	975	-16	-1.6
り災人員(人)	2,247	2,360	-113	-4.8
焼損面積				
建物床面積(㎡)	46,261	54,277	-8,016	-14.8
建物表面積(㎡)	3,254	3,719	-465	-12.5
林野(a)	656	2,835	-2,179	-76.9
損害額(千円)	4,165,588	6,177,404	-2,011,816	-32.6
建物火災	3,834,747	4,174,141	-339,394	-8.1
林野火災	464	13,422	-12,958	-96.5
車両火災	111,407	276,068	-164,661	-59.6
船舶火災	55,733	24,871	30,862	124.1
航空機火災	0	0	0	—
その他火災	150,917	73,082	77,835	106.5
爆発火災	12,320	1,615,820	-1,603,500	-99.2
死者(人)	71	90	-19	-21.1
負傷者(人)	370	343	27	7.9

(注) ア 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ 林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

ウ 車両火災とは、原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

- エ 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
- オ 航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
- カ その他の火災とは、アからオまでに掲げる火災以外の火災をいう。

2. 出火件数

(1) 総出火件数は、2, 242件で前年と比べて226件減少している。これを火災種別で見ると、次のとおりである。

種別 年	総出火件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
平成26年	2,242件 (100.0%)	1,090件 (48.6%)	93件 (4.1%)	185件 (8.3%)	4件 (0.2%)	0件 (0.0%)	870件 (38.8%)
平成25年	2,468件 (100.0%)	1,140件 (46.2%)	108件 (4.4%)	207件 (8.4%)	4件 (0.2%)	0件 (0.0%)	1,009件 (40.9%)

(2) 月別出火件数

月別出火件数は、次のとおりである。火災は、1月から4月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	246	213	260	239	186	137	139	192	156	147	142	185	2,242

(3) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、県平均 約3.62件となっている。

3. 損害額

火災による損害額は4,165,588千円で、前年比2,011,816千円(32.6%)減少した。また、1日当たりでは約11,413千円(前年約16,924千円)、1件当たりでは約1,858千円(前年約2,503千円)となっている。

4. 出火原因

出火原因別火災発生件数は、次のとおりである。これは例年と同様の傾向である。

総出火件数	放火・放火の疑い	たばこ	こんろ	たき火	火遊び	その他
2,242件 (100.0%)	453件 (20.2%)	225件 (10.0%)	163件 (7.3%)	193件 (8.6%)	70件 (3.1%)	1,138件 (50.8%)

※その他には、上記以外の出火原因21区分及び不明・調査中を含む

5. 死傷者の実態

(1) 死傷者数

火災による死者は71人、負傷者は370人で、前年に比べて死者は19人減少(前年比-21.1%減)し、負傷者は27人増加(前年比7.9%増)した。

(2) 火災種別にみる死傷者数

火災種別ごとの死傷者発生状況は、次のとおりである。

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	50 (70.4%)	0 (0.0%)	10 (14.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (15.5%)	71 (100.0%)
負傷者数	307 (83.0%)	6 (1.6%)	9 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	48 (13.0%)	370 (100.0%)

(3) 月別の死傷者数

月別死傷者数は、次のとおりである。死傷者は、12月から4月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	6	6	15	3	1	6	4	7	3	5	6	9	71
負傷者数	49	51	35	39	21	12	35	15	24	32	26	31	370

(4) 年齢層別の死者数

年齢層別死者数は次のとおりであり、61歳以上が全体の6割以上を占めている。

区分	0歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	不明	合計
死者数	2 2.8%	2 2.8%	1 1.4%	8 11.3%	10 14.1%	16 22.5%	32 45.1%	0 0%	71 100.0%

(5) 死因別死者数

死因別死者数は次のとおりであり、死者は、一酸化炭素中毒・窒息で多く死亡している。

区分	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他・不明	合計
死者数	22 31.0%	14 19.7%	0 0.0%	17 25.4%	18 23.9%	71 100.0%